

2024年度活動概要

授業学（関東）研究会

本研究会では、「大学におけるリメディアル英語授業のあり方」をテーマとし、近年の学生の多様化、低学力化の原因を探り、解決法を見つけ、授業改善の方法について研究を行っている。

2024年度は、大修館書店から出版を計画している書籍の分担執筆および原稿検討を進めた。8月には第63回国際大会でポスターによる活動報告を行った。また、2月には中部支部、関西支部の授業学研究会と共催で、第6回授業学研究大会を開催した。

主な活動内容の概略を下記に記す。

(1) 大学英語教員のお悩み相談企画（原稿執筆）

多様な学生に対し、大学英語教員が授業を行う場合、言語活動、学習者、授業環境など、直面する問題点について、大修館書店『英語教育』で2022年度に連載を行った内容を加筆修正し、複数の質問項目を追加する形で書籍を2025年度に出版する予定である。その原稿執筆および検討を行ってきた。

(2) 第63回国際大会

愛知大学で開催された第63回国際大会において、ポスターによる活動報告を行った。

(3) 授業学研究大会

関東・中部・関西の3支部の授業学研究会共催で第6回授業学研究大会をZoomにて開催した。研究発表2件、実践報告5件であった。また、木村友保先生（名古屋外国語大学名誉教授）に「たかが英語教師、されど英語教師」というタイトルでご講演いただいた。全国から約60名の参加者があり、盛況であった。

(4) 公開研究会

2024年度は、公開研究会を実施することができなかった。

(5) 『JACET 授業学ジャーナル』

関東・中部・関西の3支部の授業学研究会で毎年ジャーナルを刊行しており、2025年3月31日に第4号を刊行した。

(6) 今後の計画および研究成果発表方法

(1)で述べた、お悩み相談企画については、大修館書店内での企画が通り、2025年秋に出版できるよう、原稿執筆と検討を進めている。2025年第1回理事会にて承認を得る予定であり、4月には第4号事業委員会および法人事業委員会に書類を提出する予定である。公開研究会については、2025年度はZoomで年2回程度実施する方向で検討している。関東・中部・関西3支部合同の「授業学研究大会」は1月あるいは2月にZoomで開催し、英語授業学についてより深く探求する機会を設ける予定である。